

# すずめのお宿便り R5年 4月号

発行:すずめのお宿家族会

2023年4月1日発行 第99号

定例会:次回はR5年5月13日(土)10:30~

心の春希望2階ギャラリーにて

福岡市南区大楠 1-35-17(日赤病院斜め前)Tel092-524-4153

## ♡新年度のご挨拶♡

昨年度は、コロナ下でもつながりを大切にしながら、毎月の例会を中心に、南区内の保健所、病院、基幹相談センターをまわっての「家族による家族講座」を開催。あけぼの会4家族会合同でグループホームをテーマにした映画とミニ講演を行うことができました。秋には、SSTのスペシャリスト高森信子さんを招いての福精連大会や研修、みんなねっと等の企画にZoomも利用しながら参加しました。新年度も、家族の思いを共有し、交流、相談活動など、互いに「支えあい、学びあい、活動する」をモットーにすすめていければと思っています。

精神医療と福祉の動きとして特筆されるのは、昨年9月に出された国連の審査と「日本政府への勧告」です。この勧告は、障害者権利条約に基づき、障害者の人としての尊厳を守るための国際条約であり、日本国憲法のする次に位置付けられ、みんなねっと医療福祉への提言ともつながります。昨年の関連法改正では、残念ながら当初案より大幅に後退し、当事者・家族の願いは反映されませんでした。昨年度から40年ぶりに「精神疾患」が高校教科書に掲載され、高1保健体育で授業が始まりました。わずか3時間位で何をどう伝えるのか？半世紀前の「差別助長の優生教育」を猛省し、教師全員の研修、当事者生徒への配慮、気軽に相談でき、対応サポートしてもらえる環境づくりも必要です。今後、当事者や家族の体験を聞く機会など、メンタルヘルスケアの正しい理解と偏見差別の解消が進むことを願います。

神出病院や滝山病院での患者の尊厳を踏みにじる虐待、暴行事件、「死亡退院」が明るみになり、私たち家族は衝撃を受けました。報道を見るのも辛くなりますが、特異な事件ではなく、構造的な根も深く、他人事ではすまされません。閉鎖的な病院のありかたと行政、政治の対応が改めて問われていま

す。

日本は、OECD38か国中37%もの精神病床を占め、入院期間も平均288日、1年以上入院が6割、強制入院が半数以上で、身体拘束が1万件を超え、地域移行には程遠い現状です。呉秀三医師が憂いた「二重の不幸」が100余年後の今も重なります。

息子の発症時にかすかな希望を持って読んだ1冊。閉鎖病棟をなくし鉄格子と鍵をとり払い、患者に寄り添い続け、精神医療改革を現場で模索された石川信義医師の名著「心病める人たち」-開かれた精神医療-のあとがき-より紹介します。

「はじめて精神病棟のなかを見たとき、私はしんから怒った。精神病院の仕事にのめりこんでからも、その周辺には、怒る種があまりに多すぎて困った。とどのつまり、それらの怒りは、日本という国そのものに行きつくことになった。それに対する私たちの挑戦など、蠅の斧みたいなものだ。悲しいけれど事実である。精神医療は日本の恥部である。精神医療が良くならなければ、私たちの国は、世界に向かって胸は張れない。その日はいつ来るのだろうか？その日の来るのを心から願ってやまない。…」

すずめのお宿家族会会長 白石雄二

## ZOOM やってみよう！開催

2023年3月18日

希望ギャラリーにて

しのめ福祉会：3名

すずめのお宿家族会：4名参加

実際にzoomにつなぎながら、入室・名前の変更・チャットの方法等一通り学び合いました。次回から、ZOOMに積極的に参加していきたいとの感想も聞けました。(報告 K.S)

## 🌸 2月定例会報告

16名参加

- ① 「そうかいプログラム」DVD 視聴会について  
3月の定例会後の予定でしたが、当日、斎藤環氏の講演会が開催されるため、DVD 視聴会は4月以降に延期
- ② 「ZOOM やってみよう！（勉強会）」の開催について  
3月に希望者を募って開催予定
- ③ 家族職員研修会参加の感想  
参加者より、「共感をもって聴くことの大切さがわかった」、「具体的にどう動いていくか考えていきたい」等の感想がありました。
- ④ みんなねっと輪読
- ⑤ みんなねっと賛助会員継続のお願い、他
- ⑥ 近況報告

各家族の置かれた状況は様々ですが、誰もが試行錯誤しながらも、自分のできることを一つずつ切り開いておられます。その姿勢にいつも胸を打たれます。家族会に入って良かったなと思う一日でした。（定例会報告 H.T）

## 🌸 3月定例会報告

24名参加（新規参加3名含む）

☆「そうかいプログラム」DVD 視聴会は4月定例会後に開催

☆「ZOOM やってみよう！」参加者：しのめ福祉会3名  
すずめのお宿：4名で18日（土）に開催予定

☆先日 ETV で放映された八王子滝山病院で行われていた患者虐待については非常にショッキングで目を覆いたくなるような内容だった。未だ改善しない精神病院の闇に光をあて白日の下に実態をさらけ出し、膿を出し切り、一人一人の患者の人権を取り戻すにはいったいどれくらいの時間がかかるのでしょうか。今も苦しんでいる仲間がいるというのに…

☆愛媛県愛南町で精神科病院を町から無くしたというニュース：長野敏宏医師は当初「入院は必要」と考えていた。隔離や拘束など「自分がされたくないことを患者にしている自己矛盾」に直面。「おかしい」と思う事を一つ一つなくしていき、「入院ベットがなくてもやっていけるのでは」と思うようになった。「患者さんと対等な関係でいたい」と白衣は着ない。患者と一緒に地域の活動に参加。約20年かけて病院を廃止。やがて、閉鎖病棟にいた患者たちの様子は変わった。生き生きとした表情になり、人間らしい暮らしを取り戻した。長野医師は「環境が変われば、こんなに変わるんだとびっく

りした。」愛南町に入院できるベットはもはやない。入院がどうしても必要な際は、隣の市にある病院に入れるが、「なるべく入院させない」。統失で、不安定になる患者は長野医師、看護師、PSWらが24時間駆けつける。無理に治療はしない。家に引きこもって会ってくれないなら、何カ月何年も通う。

病院をなくすことに地域住民の反対はなかった。住民は患者さんといろんな機会に触れあってきたからだ。

精神障害のある人達と長野医師はゼロから始めたアボカド栽培に取り組み、試行錯誤の末、今は東京の老舗果物専門店に出荷するまでになった。（定例会報告 K.S）

🌸あみ設立25周年全国大会にZOOM参加して  
だれもが主役 つながる その先へ～あみ設立25周年全国大会が1月下旬にオンラインで開催され、「みんなねっと」も後援し540人が参加、視聴しました。「あみ」は、家族会等が中心となって精神障がい者のための共同作業所を各地につくりはじめたころに呼びかけて設立。正式名称は「全国精神障害者地域生活支援協議会」、精神障がいのある人が地域での生活をより心地よくするため活動している団体です。

「治すべきは患者さんではなく社会では？」

1 日目は、精神科病院に長期入院している人を撮り続けた写真家・映画監督の大西暢夫さんが記念講演。大西さんは、長期入院を余儀なくされている患者さんの撮影写真や、入院している人のドキュメンタリー映画「オキナワへいこう」を紹介しながら、「治すのは患者さんではなく、社会ではないだろうか？」と問いかけました。

2 日目は、家族が主役！～様々な家族のストーリーや思いを知ることから始めよう～に参加。家族会の親や姉妹、子どもの立場からの体験や思いが語られました。親の立場の方は、「家族会は家族が安心して話せる場になっている」と、家族学習会を取組んだ経験などを報告。子どもの立場から、坂本さんは「子どもの時は誰にも相談できなかった。解決だけではなく、話を聞いてもらえるお節介な人の存在が必要」と自らの体験をふりかえり、「こどもびあ」でつながりを広げる活動を語りました。また、姉妹の立場から、「母が家族会につながっていないときに、姉妹の立場で家族会に参加し、勇気をもらえる大切な存在となっている」、と話されました。

「本来、医療は患者のためのもの」

家族支援をされておられる世田谷保健所の向山晴子医

師は「相談のほとんどは家族から、8050 問題など、支援が十分行き届いていない現状を変えていくことが課題」。「本来、医療は患者のためのもの」、「困りごとに焦点をあてた支援が大切。医療や福祉が重要だけど、社会の中での情報発信をしている家族会の存在は、他の支援者にはできない大事な存在」と、その意義を話されました。当事者・家族が「最後までよく頑張った、人生良かったね」と思える社会になればいいね、という思いを共有できました。

「精神病床はOECD38 개국で日本が 37%も」

2 日目は、国連の特別報告者で精神科医のダニウス・ブラウンさんが講演。「生物医学モデル」、「強制的な治療は患者の尊厳と両立しない」として、国連の是正勧告にもとづく人権を守り、地域社会で生活する権利を保障し、地域医療・福祉の支援に転換する必要性を示しました。午後は、「私たちができること・やるべきこと」～国連委員会からの勧告を受けて「その先へつなげる」こととは？～のテーマでシンポジウム。日本障害者協議会・藤井克徳代表、日本弁護士連合会・池原毅和弁護士、厚生労働省・辺見聡担当部長がそれぞれ問題提起しました。

藤井さんは、今もOECD38 加盟国の中で日本の精神病床は 37%を占めていることなど、二度にわたる国連クラーク勧告を無視して、隔離収容施策を推進してきた日本の精神医療施策が改善されていないと指摘。障害者権利条約に基づき、病気や障がいがあっても地域で人として生きていけるための自己決定権と尊厳を守る施策の推進を強調しました。

池原弁護士は、弁護士会として全国大会で精神障害者の人権を守る決議を行い、強制入院を減らしていくロードマップをつくり、その実現のために力を尽くしていくことを表明。厚労省の担当部長は「国連勧告を重く受け止めたい。他国の事例を注目したい」などとコメントしました。

「国連勧告を活かして」

藤井さんは、昨年出された「国連の日本政府への勧告」を活かして、医療モデルから、社会モデルへの転換と、当事者が主体的に地域で暮らせるしくみ、環境をつくることが重要。いっしょに議論しながら実現していこうと呼びかけました。また、「その政策は誰が作るか、気がついた人が責任者。そして、リーダーが変わっても継続できる仕組みをつくるのが大切」とよびかけました。

(報告 Y.S)



#### 🌸野村忠良氏のこと (その4)

#### ♡連載コラム「多事彩々」始まる

2018 年 (H30) 4 月号から野村編集長のコラム (囲み記事・短評) が連載されることになった。

2015 年 3 月号で事務局長野村氏の意見に胸のすく思いをし、秋には全国大会国際会議場分科会でお目にかかれ、2016 年 5 月号「私と家族の手記」で衝撃を受け、2017 年 5・6 月号トレント (伊) 視察記で同行したかのような臨場感を覚え、2018 年 3 月号で青木聖久氏による野村夫妻の物語に感動…と、野村氏の誌上追っかけをしていた私は、「連載」の二文字に狂喜乱舞した。

#### ♡初回のテーマは「家族もさまざま」

父に勧められ家族会に入会し 4、5 年になる。父は配偶者の立場、自分は子供の立場であり、配偶者の立場でもあった。兄弟姉妹の会も深刻な状況だが、子供の立場は他の立場とは違っていたいへんさがある。自尊心・自信・安心感が育ちにくい辛さは、生存の核心に係る重大なハンディだ。

特記すべきは、この号の最終頁に今後の編集理念の刷新が発表された事だ。

- ・一般市民の立場に立つ視点。
  - ・家族をひとくりにせず、多様な立場の状況も伝える。
  - ・統合失調症のみならず、双極性、発達障害など広義の精神障害にもスポットを。
  - ・就労など働くことの現状にも目を向ける。
  - ・声をあげにくい児童・生徒の教育を考える。
- など、あげられていた。

#### ♡スタート半年後の「休刊」「魂の故郷で」

2018 年 10 月号、何度探しても「多事彩々」コーナーが無い！ 目次の下の方に小さく休載お知らせがあった。野村氏の身に何か重要な事が？

一か月後、ホツとしたのも束の間…。テーマは、「魂の故郷で」…今までの野村氏とは何か違う。もう「多事彩々」は読めなくなるのか…。

※お詫び：思いがあふれて、最終回にできませんでした。  
次回に続く… (M・H)



## 🌸 みんなねっと賛助会員のおすすめ 🌸

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）は、精神障がい者の家族の全国組織です。私たちの目的は、家族がつながって、気持ちをわかち合い、笑顔になり、元気になることです。また国や地方公共団体に働きかけ施策を良くし、家族や本人が地域の中で安心して暮らせるようになることです。みんなねっとの活動は皆様の賛助会費で成り立っています。賛助会員特典として毎月「月間みんなねっと」をお送りします。賛助会費年間3600円

## ★ すずめのお宿の電話相談 ★

すずめのお宿では2023年4月1日から電話相談を受け付けます。お気軽にお電話ください。

TEL080-3986-1980

時間：13：00～16：00

## 家族の相談受付中♥️（家族の方に限る）

毎月定例会後（第1土曜日 13：00～15：00）

## \* すずめのお宿サロン開催 \*

上記時間帯にて、相談・おしゃべり etc…

ゆっくり過ごしてみませんか？

お待ちしております。

## すずめのお宿家族会へのおさそい

家族同士で支え合い学び合ひましょう

すずめのお宿家族会は、精神に障がいのある

当事者を抱える家族の集まりです。

家族会では、お互いの悩みや意見を交流しながら、心のよりどころとして励まし合い、支え合い、学び合つて元気をもらっています。

家族同士だからこそ、辛い体験や悩みも分かり合えます。あなたも参加してみませんか？

原則第1土曜日 午前10時半より

## 今後の日程・行事

- 福精連 通常総会（決算） 5月26日（金）
  - 福精連 家族・職員研修会 6月16日（金）
  - 福精連 第6回福精連大会 9月9日（土）
  - 福精連 拡大会議 10月17日（火）
- 福精連行事の会場はその都度連絡
- みんなねっと全国大会（埼玉）10月14日～15日
  - みんなねっと九州ブロック大会 2024年2月8日～9日

ひたすらに ただひたすらに  
祈りつ  
吾子 まもりたまえと  
暗闇に 佇つ

（すずめのお宿初代会長 藤島芙美子）

